

県政だより

あきた 新時代

5 2003
月号

平成15年5月1日発行 第92号)
[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県情報公開課
〒010-8570
秋田市山王四丁目1番1号
☎018(860)1073
FAX 018(860)1072
sinjidai@pref.akita.jp

平成15年度当初予算のあらまし 地域のきらめき発掘事業



子育てを応援します

鷹巣町の子育てサポートセンター「わんぱあく」は年中無休。住民ボランティアの協力も広がっており、地域ぐるみで子育てを応援するための拠点になっています。今日は先生と一緒にねんど遊び。何ができるかなあ？

平成15年度

今年度の当初予算では、元気な秋田を創り上げるため、「経済・雇用対策」「男女共同参画社会づくり」「新社会資本の整備」の3分野に、予算を重点的に配分しました。

当初予算のあらまし

1

経済・雇用対策

雇用創出

21億1,592万円

緊急雇用創出特別基金を活用し、緊急に対応すべき雇用・就業施策を実施するとともに、創意工夫に基づいた市町村の取り組みに対し助成します。

[県事業] 40事業

- ・保健室相談活動サポート事業
- ・NPOサポートセンター設立支援事業 など

[市町村事業] 66市町村211事業

就業支援

2,264万円

離職者の生活不安の軽減と再就職を支援するため、充実した相談機能とハローワークの職業紹介機能を兼ね備えた「総合雇用支援センター（秋田市御所野「秋田テルサ」内）を国と共同で設置します。



マーケティング力の強化

1億633万円

本県農業と製造業等の競争力を高めるため、産地や企業等が実施するマーケティング戦略の構築や実践を支援します。

- ・県産農産物の市場・量販店・消費者のニーズ調査
- ・アドバイザーの派遣
- ・企業への情報提供

安全・安心な「あきたブランド」の確立

4,004万円

農畜産物のトレーサビリティシステム（生産・流通履歴を把握できる仕組み）の導入等により、「安全・安

心」をキーワードとする「あきたブランド」の確立をめざします。

- ・JA等が行う農畜産物の生産履歴の蓄積、開示のためのシステム開発等に対する助成
- ・「あきたブランド」認証制度の確立に向けた検討会設置

豊かな素材を活かした観光の推進

2,540万円

本県の豊かな自然や素材を活かした観光の振興を図るため、地域の活動グループ等と連携し、地域資源の掘り起こしやネットワーク化を進めます。

- ・市町村や地域観光団体等が取り組む旅行商品開発、二次アクセス改善事業、観光案内人養成等に対する助成

2

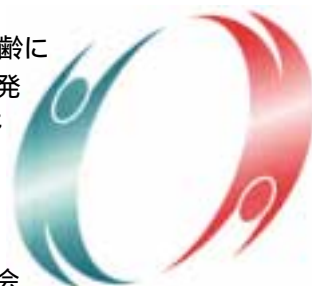
男女共同参画社会づくり

男女共同参画社会を担う人づくり

950万円

すべての県民が性別や年齢にとらわれず、個性や能力を発揮できる社会をめざし、多様な分野へ女性参画を進めるための人材育成に取り組みます。

- ・韓国を訪問して交流学習会等を実施
- ・起業支援講座、就業スキル講座の開催
- ・行政の仕組みや課題等を学ぶ講座の開催



男女共同参画シンボルマーク最優秀作品
(秋田市 藤原いずみさん)

安全・安心な子育て支援

10億4,786万円



子育てにかかる経済的負担の軽減を図るため、これまでの第3子以降の保育料等の助成に加え、第1子のゼロ歳児についても助成するほか、市町村が実施する妊婦健診に対し助成します。

3 新社会資本の整備

人材の育成

少人数学習の推進

11億9,585万円

子どもたちの個性を生かした教育を行うため、臨時・非常勤講師を配置し、少人数学級体制による教育活動を展開します。

- ・小学校1・2年生と中学校1年生 / 30人学級
 - ・小学校3～6年生、中学校2・3年生 / チーム・ティーチングによる少人数学習
 - ・高校生の英語・数学の学力向上の推進
- チーム・ティーチング(複数の教員が協力して行う指導方法)



インターネットTV授業

5,700万円

より「わかる授業」、「楽しい授業」を実現するため、学校間や総合教育センターをリアルタイムで結ぶテレビ会議システムを導入します。

国際教養大学の設置

15億2,448万円

国際教養大学の平成16年4月開学に向けて、ミネソ

タ州立大学機構等と大学間協定の協議を行うほか、学生募集や大学のPR、施設・設備の整備を行います。

情報化社会の構築

高速情報通信網の整備

2億79万円

平成15年度中に県内全市町村での高速インターネット通信を可能にするため、通信事業者が実施するADSL施設整備に対し助成します。



生活環境の整備

水と緑を守る県民運動の推進

1,364万円

今年4月に施行された「秋田県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」に基づき、水と緑の保全及び創造に関する施策を進めるための基本計画を策定するとともに、「水と緑のコンサート」などを通じて、「水と緑の県民運動」を進めます。

4 その他

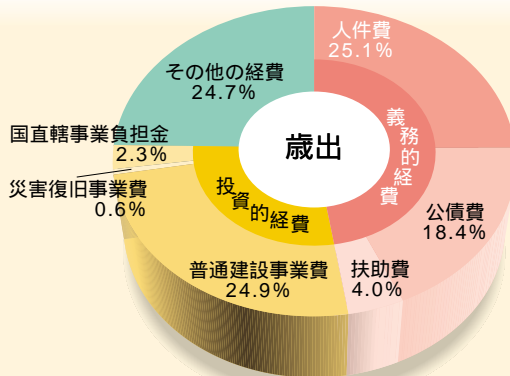
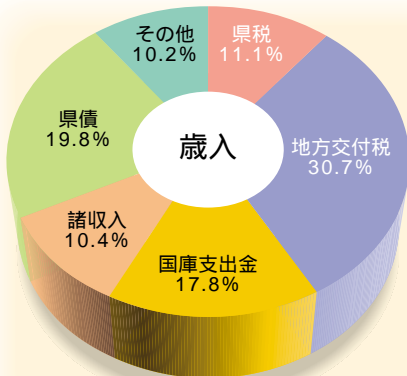
分権型社会の構築

1億1,839万円

合併に向けた市町村の自主的な取り組みを積極的に支援するとともに、取り組みが遅れている地域に対しても、市町村の求めに応じて助言・調整を行います。

- ・実務担当者等に対する研修会の開催
- ・重点支援地域の指定に向けた研究会に対する助成
- ・重点支援地域に指定された市町村で構成する任意協議会に対する助成
- ・法定協議会に対する助成

一般会計の当初予算額 7,200億6,300万円



お問い合わせ
 県財政課 TEL018(860)101
 ホームページアドレス
<http://www.pref.akita.jp/zaisei/index.html>

地域の **きらめき** 発掘事業

地域づくり活動を支援します!

県では、県民総参加で新しい秋田づくりを進めるため、民間グループなどが行う地域づくり活動を支援する「地域のきらめき発掘事業」を実施していますが、この事業の平成15年度の対象グループを募集します。

地域に住む皆さんの発想こそが、地域づくりの大きな力となります。皆さんのアイデアを新しい秋田づくりに生かしてみませんか。



平成14年度対象事業のひとつ「森岳温泉夏祭り」

募集は各地域振興局ごとに行いますので、募集期間や応募方法など詳しくは、最寄りの地域振興局総務企画部にお問い合わせください。

2 つの支援メニュー

地域づくりワークショップ等の開催

民間グループが取り組む地域活性化プランの策定や講演会、研修会、ワークショップ等で、地域づくり活動の推進が図られるものを支援します。
補助金...1件につき30万円まで

地域づくりイベント等の実施

民間グループが行う地域活性化イベントなどで、県内外の方々の興味や関心を集め、地域のにぎわいや元気を創出することが期待される取り組みを支援します。
補助金...補助対象経費の2分の1以内で、1件につき100万円まで
ただし、新たに取り組む広域的なイベントについては、補助対象経費の2分の1以内で、1件につき200万円まで

お問い合わせ 県市町村課 TEL 018(860)1144 または、各地域振興局総務企画部



情報公開課にお寄せいただいた「おたより」の中から、心なごむ一言や県政に対するご意見、広報紙の感想などを紹介します。

「秋田21総合計画第2期実施計画」の実施で、元気な秋田がつくられるように、県民としても計画を活用したいと思えます。

(67歳・男性・秋田市)

秋田も活性化が進んできているなど感じました。私のような若者が積極的に参加すれば、今以上に秋田はよくなるのではないかと思います。

(17歳・女性・六郷町)

「夢パートナーシッププラン」は、特に子どもをもつ親として、夢ある子育て家庭づくりに興味をひかれました。少子化の歯止めになる様なそんな運動を進めてほしいですね。

(30歳・女性・羽後町)

表紙写真、男の子の顔が印象的で可愛い。秋田県の未来のためにも、こんな子どもがドンドン育ってほしいです。

(71歳・男性・秋田市)

地域振興局がスタートしましたが、あまり組織がスリム化して、私たちが頼りにくい存在にならないことを願っています。

(27歳・女性・鹿角市)

「春夏秋冬こぼれ話」、八橋人形の後継者がいないと言っております。なんかとっても残念で残念で寂しく思います。

(62歳・女性・秋田市)

秋田の「食」の連載が始まり、食にまつわる様々なことが学べる機会ができてよかったと思っています。

(45歳・女性・秋田市)

秋田の シリーズ Part.2

食

みんなで秋田の「食」を守り、育てよう!!
あきたの健康長寿は、食生活から「存じますか?」食生活指針

近年、糖尿病や高血圧症など「生活習慣病」の増加と若年化が問題になっていますが、これらの病気の多くは「食生活」と深く関わりがあるといわれています。四季折々の「旬」の食材をバランスよく摂取することが、健全な食生活のポイントです。今月は、日常の食生活で心がけたい「10の指針=食生活指針」をご紹介します。

- 1 食事を楽しみましょう。
心とからだにいい食事を味わって食べよう
- 2 1日の食事のリズムで、健やかな生活リズムの確立を
朝食で、いきいきとした1日を始めよう
- 3 主食、主菜、副菜を基本に食事のバランスを
多様な食材を組み合わせよう(1日に30品目を目標に)
- 4 ごはんなどの穀類をしっかりと
ごはん中心の食生活こそ「健康」への道
- 5 野菜・果実、牛乳・乳製品、豆類、魚なども
組み合わせて
たっぷりの野菜・果物でビタミン、ミネラル、
食物繊維を
牛乳・乳製品、豆類、小魚などでカルシウムを
- 6 食塩や脂肪は控えめに
食塩は1日10g未満に
(県民の約8割は塩分の取り過ぎ)
- 7 適正体重を知り、日々の活動に見合った食事を
美しさは健康から。無理な減量は禁物
- 8 秋田の食文化や地域産物を活かし、時には
新しい料理も
「旬」の食材を使い、自然の恵みや四季の変化
を楽しもう
- 9 調理や保存を上手にし、無駄や廃棄をな
くそう
買いすぎ、作りすぎに注意
- 10 自分の食生活を見直そう
子どものころからの食生活が大切です
食生活を点検する習慣を持とう

「食生活」には栄養を取り、健康を保つというだけでなく、社会的、文化的な面から生活の質を高めるといふ良さもあります。

皆さんが「食生活」を見直し、地域の「食」をもっと楽しみ、もっと味わい、そして健康づくりに役立てましょう。まずは、できることからスタートです。

お問い合わせ 県流通経済課 TEL018(860)1764 県健康対策課 TEL018(860)1423

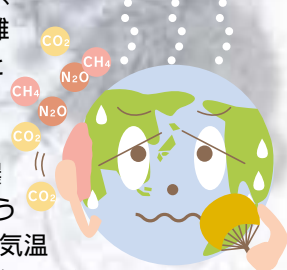
かけがえのない地球を守るため、みんなの力で温暖化を防ぎましょう。

減らそう! 家庭からの 二酸化炭素

環境問題のなかでも、地球温暖化は解決が難しく、早急に対策をとることが求められています。大気中の二酸化炭素やフロンなどの濃度が高まり、温室のような役割を果たすため、気温が上昇し、地球が温暖化してきているのです。

家庭でも生活が快適・便利になり、エネルギーをたくさん消費する機器が増えたため、排出される二酸化炭素は年々増加しています。

家庭でのちょっとした工夫が、地球温暖化の防止に役立つだけでなく、家計の節約にもつながります。あなたの生活習慣を見直してみませんか。



こんな時にも省エネ意識をもって

家電製品を買い替えるときには、省エネ型の商品を選ぶ。車を買うのなら、小型車かハイブリッドカー(電気・ガソリン併用車)を。また、ムダなアイドリングはやめましょう。家を建てる時は、断熱や太陽光の利用などに配慮を

ムダな光熱費・エネルギー消費はありませんか

太陽光を入れたり、カーテンで寒さを遮ったりして、暖房は控えめに。

車はなるべく使わないようにして、歩いたりバスや自転車を利用しましょう。

水道やシャワーの流しっぱなしをやめ、風呂の残り湯は、洗濯などに再利用しましょう。

ポットやジャーの保温をやめ、ご飯などは電子レンジで温め直しましょう。

トレーやラップを使わない商品を選び、マイバックを持ち歩きましょう。

どれもちょっとした心がけでできることです。このほかにも、身の回りで工夫できることはありませんか?一人ひとりが工夫を積み重ね、みんなで地球の温暖化にブレーキをかけましょう。

お問い合わせ 県環境政策課 TEL018(860)1604

情報の ひろば

催し物

第54回秋田県植樹祭

豊かな水と緑の創造と、環境緑化などの意識を高めるために行っている県植樹祭を、今年は五城目町で開催します。

日時 5月24日(土)午前9時~

場所 五城目町「森山森林公園」

*当日は、森の案内人による「森のクラフト教室」や五城目朝市などのイベントも行います。

☎県森林環境対策室 TEL018(860)1750
五城目町農林課 TEL018(852)233

お知らせ

重症急性呼吸器症候群 (SARS)について

中国(広東省・香港・台湾・山西省)ベトナム(ハノイ)等から帰国後、10日以内に、38度以上の急な発熱とせき、息切れ、呼吸困難等の症状のある方は、医療機関へ連絡のうえ、すぐに受診してください。

☎県健康対策課 TEL018(860)1424

山菜採りの遭難事故に 気を付けましょう

昨年、秋田県内では3月から9月までの山菜採りのシーズン中に、過去10年間で最も多い45件の遭難事故が発生し、9人の方が亡くなっています。

遭難事故防止のため、1人では山に入らず、家族に行き先と帰る時間を知らせるようにするほか、無理な行動は絶対にやめましょう。

☎県総合防災課 TEL018(860)4563

バリアフリー条例が 施行されました

4月1日から、「秋田県バリアフリー社会の形成に関する条例」が施行されています。

多くの方が利用する施設については、バリアフリーに配慮して整備するなど、県民の皆さんのご協力をお願いします。

☎県福祉政策課 TEL018(860)1316

支援費制度の利用申請は お済みですか？

障害者福祉サービスの利用の仕組みが、4月から支援費制度に変わりました。

ホームヘルプや短期入所などの在宅サービスは、申請しないと利用できませんので、利用を希望する方は、市町村の障害者福祉担当窓口で手続きを行ってください。

☎県障害福祉課 TEL018(860)1333

保育士の登録手続きについて

平成15年度から、保育士の登録が必要となりました。保育士として業務を行う場合は、事前に登録を行ってください。

登録手数料 4,200円

☎登録事務処理センター

登録案内専用電話 TEL0120-041943
(月~金10時~18時)

音声案内及びFAX 03(5485)3133

(終日)

水害にご注意を

毎年5月は水防月間です。水害は全国で毎年のように発生しており、多大な被害をもたらします。家族や地域のみならず、日ごろから気象情報に注意し、「いざ」という時に備えましょう。

☎県河川課 TEL018(860)2516

または最寄りの地域振興局建設部

夢航海体験しませんか？

子どもたちに海の旅の楽しさや物流の仕組みを知っていただくとともに、長距離フェリー秋田航路の利用を拡大するため、県内の小中学生を対象に、総合学習やクラブ活動等でのフェリーを活用した企画を募集し、「わくわく夢航海体験事業」として50万円を上限に助成します。

*参加人数30人以上の団体を対象とします。

*修学旅行は対象となりません。

☎県建設交通政策課 TEL018(860)1284

春の全国交通安全運動が 行われます

今年の運動の重点は次の3つです。

子どもと高齢者の歩行中や自転車での事故防止

シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

飲酒・無謀運転の徹底追放

ひとりひとりがゆとりを持ち、マナーを守って交通事故の防止に努めましょう。

期間 5月11日(日)~20日(火)

☎県民文化政策課 TEL018(860)1543

自動車税の納税通知書が ポスタルメールに変わります

今年から、自動車税の納税通知書が、用紙を折り曲げて圧着し、封書の形にするポスタルメールの様式になります。お手元に届いた際には、破れない様に気をつけて中をお開きください。

☎県税務課 TEL018(860)1123

または最寄りの地域振興局県税課(部)

県南の花と歴史を巡って みませんか

県南の3地域振興局や市町村でつくる「花と歴史遺産巡り促進事業実行委員会」では、県南地域の各地にある花のイベントや歴史スポットなどを対象としたスタンプラリーを実施します。必要なスタンプ数をそろえた方には、抽選で素敵な賞品が当たります。

期間 5月15日(木)~11月21日(金)

☎花と歴史遺産巡り促進事業実行委員会事務局(平鹿地域振興局内)

TEL0182(32)0594

募集

盲ろう者向け通訳介助者 養成講座

目と耳の両方に障害のある方の自立と社会参加をお手伝いする、通訳介助者の養成講座を開催します。

日程 6月と7月の毎週土曜日(合計8回)

会場 県生涯学習センター分館ジョイナス

対象 全日程に参加可能で、講座修了後に通訳介助者として活動可能な高校生以上の方。

点字・手話経験者優先。

募集人数 30人

募集期間 5月12日(月)~23日(金)

☎秋田盲ろう者友の会事務局

TEL018(895)5201

県児童会館・子ども博物館の ボランティア募集

児童会館の行事の手伝いなどをする「一般ボランティア」と、専門的な知識・技能を有する「専門ボランティア」を募集します。説明会は次のとおりです。

日時 5月25日(日)午後1時30分~

会場 県児童会館

☎県児童会館 TEL018(865)1161

☐ テレビ

こちらお茶の間情報局

ABS 毎週日曜日11:00~11:15

5月 4日 子育て応援します

11日 おはなしいっぱい

18日 子どもたちの農村体験プラン

25日 知事とともに(11:25まで)

秋田花まるっ

AKT 毎週月曜日21:54~22:00

5月 5日 秋田のごちそう「のり巻き」

12日 春の草木染め

19日 田沢湖町の山菜採り名人

26日 男女共同参画推進月間が始まります

あきた東西南北

AAB 毎週土曜日9:30~9:45

5月 3日 中仙町に「ドンパル」がオープン

10日 魅力アップ!日本最古の芝居小屋・康楽館

17日 地球にやさしいエネルギー

~燃料電池っておもしろい!~

24日 見どころいっぱい! 県立博物館

31日 県南の花と歴史を巡ってみませんか?

📻 ラジオ

県庁だより

ABS 月~金11:45~11:50

モーニングスマイル

エフエム秋田 毎週土曜日 8:30~8:55



あんな声
こんな声



なぜ子供を産めないか、それは教育費がかかり過ぎるからだと思ひます。大学に進学するのが当たり前の中ですが、仕送りが大変です。奨学制度の充実が必要ではないでしょうか。

(「知事への手紙」より)



県では、子育てをサポートする仕組みづくりや経済的負担の軽減策など、「子育てに夢を持てる社会づくり」に重点的に取り組んでいます。

このうち奨学金制度については、第3子以降を対象にした県独自の「すこやか奨学金」

を貸与しています。また、第3子以降の保育料や幼稚園の経費を無料としていますし、一定の所得制限はありますが、小学校に入学するまでの間、医療費を無料としています。

しかし、こうした事業を実施しているものの、依然として少子化の傾向に歯止めがかからない現状です。

このため、平成15年度からは、母体の保護と胎児の健康管理により、安心して出産していただくため、妊婦健診の費用に対しても助成することとしました。

また、同じく今年度から実施することとした第1子のゼロ歳児保育料の無料化は、育児休業制度が十分活用されていない現状や生活基盤が安定していない若い方々が多いこと、共稼ぎが多いことを踏まえ、出産・育児に係る若い方々の経済的負担を軽減することによって、第2子、第3子の出産につながっていただきたいという考えによるものです。

以上のようにさまざまな取り組みを進めてはありますが、一朝一夕に解決するような課題ではありませんので、今後とも県民の皆様とともに考え、知恵を出し合っていかなければならないものと考えております。

春夏秋冬
こぼれ話

シリーズ50

文 小西 一三 / 絵 小西由紀子

美しい花を咲かせるのに
なぜか忌み嫌われるイワシ花

タニウツギ、谷空木とも書く。その名のとおり谷間の斜面に多く、枝の芯は中空になっている。

花は淡紅色。生える場所によって色に濃淡がある。



花は咲いても
イワシは不漁
これ?
アメリカ産だ!

小西 一三 (49)

桜の花が終わって間もなくすると、海沿いの標高の低い山からイワシ花が咲き始める。正式名称はタニウツギだが、秋田ではやはりイワシ花が一般的。地域によってはガザ花、ガジャ花、ガザンとも呼ばれているようだ。

この花には恥ずかしい思い出がある。それは二十年前近くの五月中旬、東京から来たお客さんを案内した時のことだ。秋田市近郊の林道沿いに満開だったこの花の名前を聞かれ、「イワシ花」と答えた。すると「おもしろい名前ねえ。何でイワシなの?」と再度の質問。これに「イワシのように、どこにでもうじゃうじゃあるからだと思っただけです」と説明してしまっただ。後で調べてみると、秋田の海でイワシが獲れる頃に咲くからイワシ花。なんともいいかげんな説明をしてしまったものだと思っただ。

ところでこのイワシ花、日当たりのいい場所に咲く美しい花なのに、秋田ではなぜか忌み嫌われているようだ。これを庭の植木にしようと

友人に応援を頼んだところ、「やめれ、あれは仏さんの花つこだ。縁起の悪い花つこだがら屋敷内に植えるもんでねっ!!」とあきれられた。そういえば県内で庭木や生け垣にしているのを見かけたことはない。かといって仏壇に供えられているのも見たことがない。

以来このことが気になり、各地の人たちに話を聞いてきた。場所は忘れたが、あの枝はなかなか燃えないので、お骨を拾う時のハシとして使ったもんだ」という人がいた。青森県のマタギは「お棺の中に入れる杖はこの枝で作る。ここではガジャシバって呼んでいる」と教えてくれた。山間部では若い葉を乾燥させ、飢きんの時の救荒食にしていたという話も聞いた。

どんなに美しくても、この花を見ると、身内の死や飢きんの時の苦しさを思い出す。だから普段目の届くところに植えなかつたのかもしれない。イワシ漁、葬式、飢きん。この花には、昔の人たちのさまざまな思いが染み込んでいるようだ。

あきた子育て情報「いっしょにねっと。」

県内の子育て情報を集めたホームページです。育児サークルや子育て支援センター、子育て支援制度などについての情報のほか、投稿による意見交換のコーナーも設けています。

県のホームページ「美の国あきたネット」の「おすすめサイト」からアクセスできます。子育ての大変さや喜びなど、さまざまな情報交換の場としてどうぞご利用ください。

ホームページ

<http://www2.pref.akita.jp/kosodate/>

お問い合わせ 県子育て支援課 TEL018(860)1342

子育て応援情報 その1
「すこやか子育て支援事業がさらに充実しました！」

県と市町村では、子育ての経済的な負担を軽くするため、第3子以降の子どもの保育料を全額助成してきましたが、平成15年度からは、さらに対象を拡大し、第1子のゼロ歳児についても保育料の全額助成を行います。

これは、出産・育児にとまなう若い世帯の負担を軽くし、第1子を生みやすい条件を整えようと、県と市町村が半分ずつ負担して実施するものです。

平成15年4月1日以降に保育所などに入所している満1歳に満たない乳児が新たに助成の対象となります。

詳しくは、各市町村の保育所担当又は、県子育て支援課(TEL018-860-1343)までお問い合わせください。



正解者の中から抽選で、10人の方に図書カード(千円分)をお贈りします。

問題 県の平成15年度当初予算の総額に最も近い額は？

- (P3参照)
- (1) 72億円
- (2) 720億円
- (3) 7,200億円

応募方法 答え、郵便番号、住所、氏名(読みがな)年齢と本紙の感想などをお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課クイズ係(住所は不要)までお送りください。締め切りは5月26日(消印有効)。はがき、ファクス(018-860-1072)、Eメール(sinjidai@pref.akita.jp)でどうぞ。

3月号の正解は(1)でした。応募455通、うち正解451通の中から抽選で次の方々当選されました。

下山香代子さん、枝広香織さん(以上、大館市) 納谷近子さん(能代市) 伊藤隆志さん(井川町) 熊谷金次郎さん、進藤キサ子さん、高橋良子さん(以上、秋田市) 赤坂朱美さん(本荘市) 加藤昌子さん(協和町) 木村まり子さん(横手市)

編集部から

いよいよ5月。木々の緑も濃くなりはじめ、風薫る季節がやってきました。1年の中でもっとも光り輝き、新しい生命が芽吹き季節、皆さんも外に飛び出し、春の風をいっぱい感じてみませんか。

子育てに関する悩みや不安は、親として誰にでもあると思います。「子育て応援情報」は新コーナーです。子育てを応援する情報を、シリーズでお届けする予定ですのでご期待ください。みなさんから大変好評の「春夏秋冬こぼれ話」。今月号ではいよいよ筆者の小西一三さんご自身が登場していますので、ぜひご覧ください。

游学

さんぽみち

道路写真コンテストの作品を募集します

県道路建設課 TEL018(860)2483

「東北の道路」を自由な発想でとらえた写真を募集しています。

部門 一般の部、小・中学生の部、高校生の部、デジタルカメラの部

応募締め切り 5月30日(金)

応募方法 応募用紙は、県道路建設課のほか、道の駅にご用意しています。必要事項を記入し、写真に添付してお送りください。



昨年度の優秀作品(高校生の部)「信号待ち」小川愛美さん(十文字町)

県生涯学習センター

秋田市山王 TEL018(865)1171

「よく分かるIT講習」パソコン初級編

パソコン初心者の方を対象に、文字入力やインターネットの基本操作などの講習を行います。

開催日 6月10日(火)~6月12日(木)

7月8日(火)~7月10日(木)

募集人数 各20人

申込締め切り 各コースとも前月の20日

会場 県生涯学習センター第2研修室

受講料 無料(テキスト代は別)

県立農業科学館

大曲市内小友 TEL018(68)2300

企画展「HANAフェスタ"春" 春のハンギングバスケット展」

いろいろな材料で作ったハンギングバスケットを多数展示します。

日時 5月20日(火)~6月8日(日)

午前9時30分~午後4時30分

入館料 無料



県政だより「あきた新時代」は県内全世帯にお届けしています。ご近所などで配達されない方がおられましたら、県情報公開課までお知らせください。また、ご感想などをお待ちしています。

県政だより「あきた新時代」は県のホームページ「美の国あきたネット」で紹介しています。

アドレスは、<http://www.pref.akita.jp/>

県政だより「あきた新時代」は、点字版、音読テープ版も発行しています。ご希望の方は、県情報公開課までお知らせください。



県人口 1,173,201人 (-801)

男 555,620人 (-418)

女 617,581人 (-383)

世帯数 394,928世帯(-184)

(平成15年3月1日現在の推計値。カッコ内は前月比)



古紙配合率100%再生紙を使用しています